



リモートスタート（液晶画面タイプ）

取付要領書

品 番

品 番	リモートスタートセット	08180 - 50040
	フィッティングキット	08181 - 50120

構成部品

リモートスタートセット			
No.	品 名	品 番	個数
1	携帯機	08182-00390	1
	バッテリーカバー（補給品）	08182-00021	—
2	受信機	08182-00540	1
3	リモートスタートアンテナ[アンテナ]	08183-00760	1
4	温度センサー	—	1
5	両面テープ（138 × 93）	08191-00050	1
6	取扱書	—	1

フィッティングキット			
No.	品 名	品 番	個数
7	ハーネス	—	1
8	タジュウアダプター	08183-00710	1
9	コーションプレート	—	1
10	クランプ	—	15
11	プロテクターテープ	—	1
12	両面テープ（118 × 81）	—	1
13	両面テープ（65 × 60）	—	1
14	シーラーテープ	—	3

本文中は [] 内の品名で表記しています。



アドバイス

本製品を作動させるためには、GTS によるサブキー登録が必要となります。

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

⚠ **注意** …注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を破損する等の恐れがあることを記載しています
 📢 **アドバイス** …スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

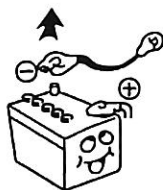
⚠ 注意

- (1) 本製品は、M/T 車への取り付けはできません。誤って取り付けた大変危険です。
- (2) バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

- (1) 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
- (2) 下回り作業中は、安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対しないでください。
- (3) 通常のキーによるエンジン始動・停止、電気式ドアロックが正常に作動する事を確認してください。
- (4) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (5) バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

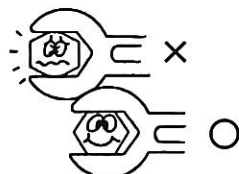
取り付けの前に

- バッテリーの(－)側ケーブルをはずす



部品の取り付けは

- 寸法にあった工具を使う



- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



配線は

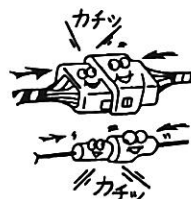
- コネクターは本体を持てはずす



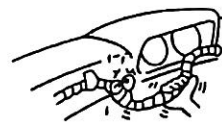
- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する



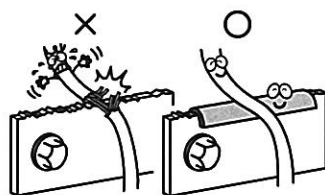
- コネクターは確実に接続する



- 無理に引っ張らない



- バリ・エッジ部はプロテクターテープ等で保護する



- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する



クランプは

- クランプは締め過ぎない

- カットした端末が他のハーネスと接触しないように注意する

- 余った部分をカットする

- コネクターを異音がないようにクランプする



取り付け完了後は

- 取りはずした車両部品は確実に復元する



取り付けに必要な工具等

- ・ 一般工具、クリップリムーバー、ニッパー、ハサミ、保護テープ、ビニールテープ、レクサスエレクトリカルテスター、GTS
- ・ 参照マニュアル・・・修理書、配線図集等

始業点検

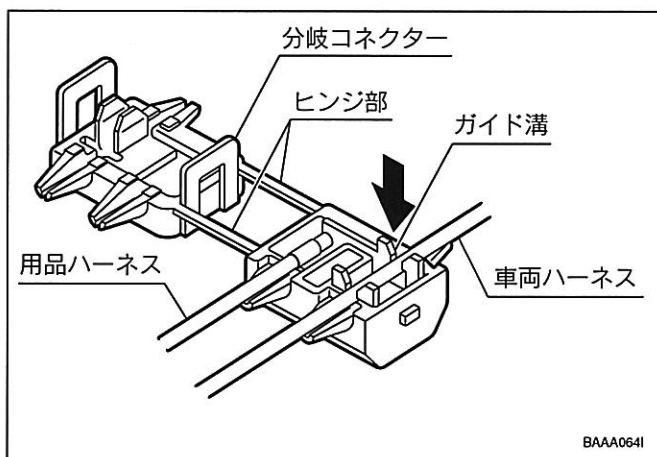
ドアロック・パワーウィンド・ハザード等、電気系統の作動確認を実施してください。

分岐コネクターの接続方法

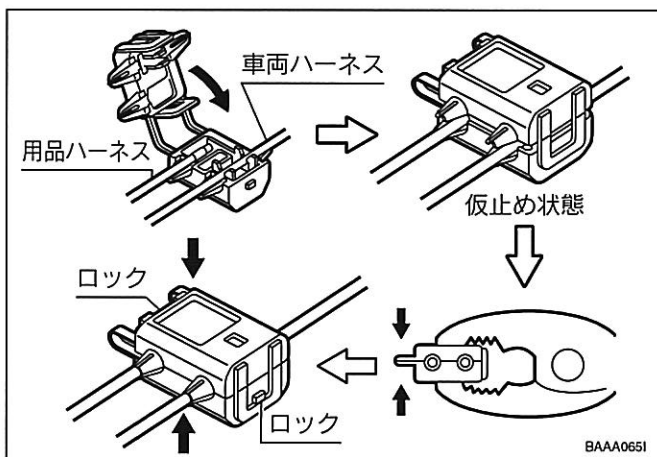
分岐コネクタ使用上の注意事項

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
- (2) 分岐コネクタは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
- (3) 分岐コネクタ接続時に、クリック音と合わせてロック（2箇所）が確実に嵌合した事を確認してください。
- (4) 接続するコネクタの端子番号及び、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
- (5) 同一コネクタに複数の分岐コネクタを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (6) ヒンジ部が破損しても確実にロック（2箇所）できれば性能上問題ありません。
- (7) 一度使用した分岐コネクタは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクタを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

分岐コネクタの接続手順



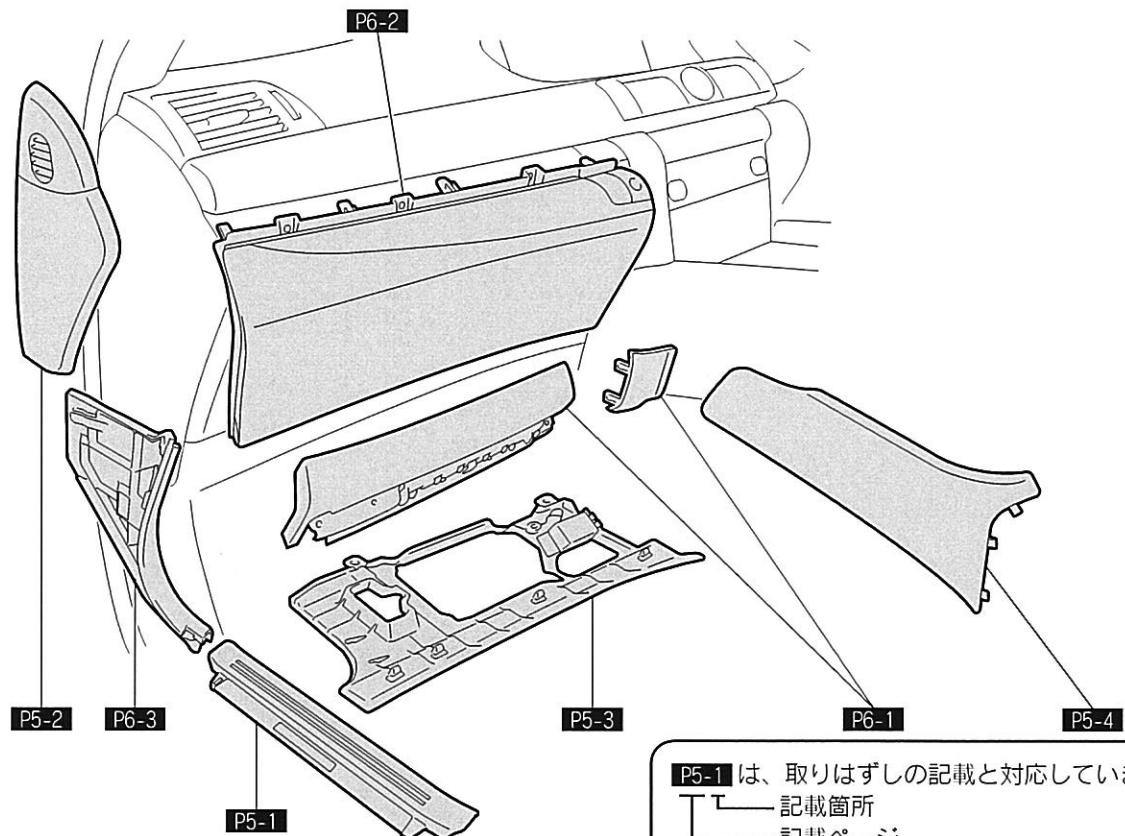
1. 接続する車両ハーネスがビニールチューブ及びビニールテープで覆われている場合は、適量をカットしてください。
2. 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。



3. 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクタを折り返し仮止め状態を作りプライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。（クリック音を確認）
4. 分岐コネクタの異音防止のため、ビニールテープを巻いて処理してください。

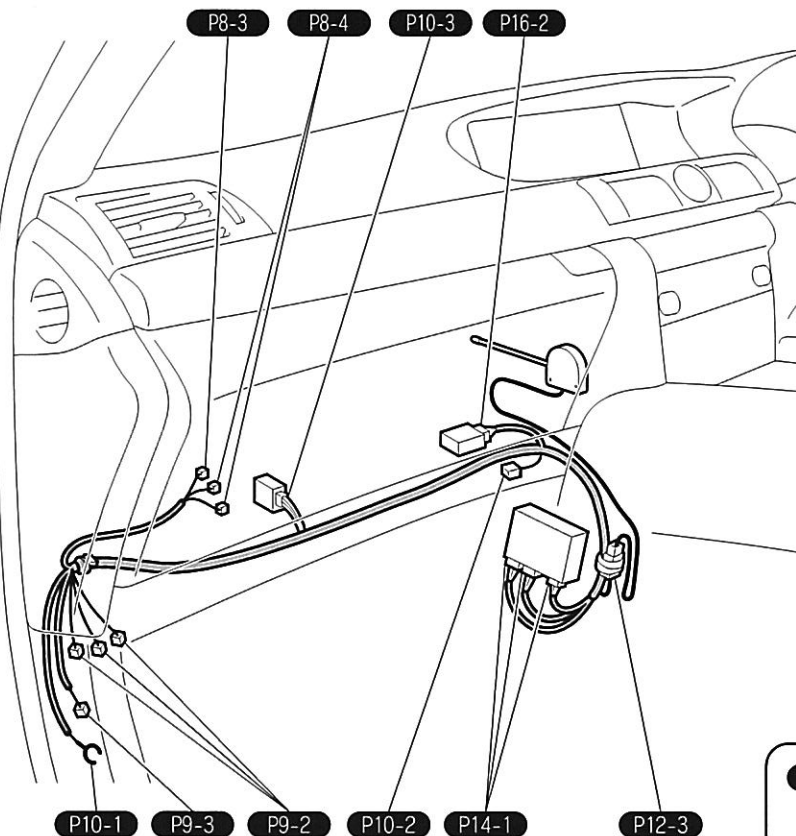
車両部品の取りはずし

詳細は修理書を参照してください。



HBAB191E

配線概要



助手席の配線

P8-3	◎	インパネJ/B
P8-4	◎	
P9-2	◎	コネクターブロック
P9-3	◎	
P10-1		アースコード
P10-2		オプションコネクター
P10-3		温度センサー
P12-3		アンテナ

端子点検後の配線(取り付け)

P14-1	受信機
P16-2	タジュアダプター

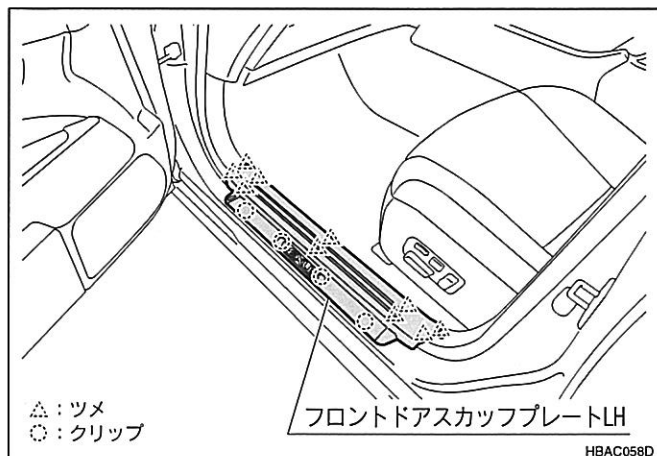
◎: 分岐コネクターによる配線

P8-3 は、本文の記載と対応しています。

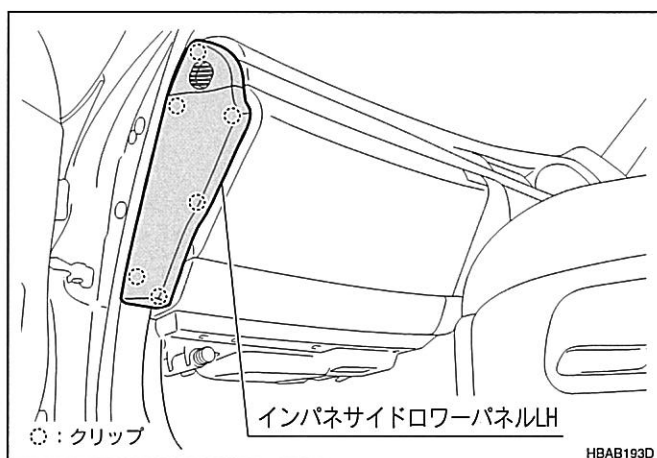
└ 記載箇所
 └ 記載ページ

HBAB192F

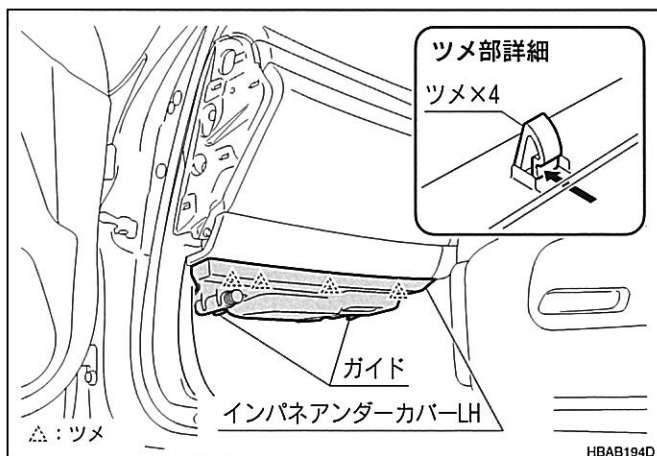
車両部品の取りはずし要領



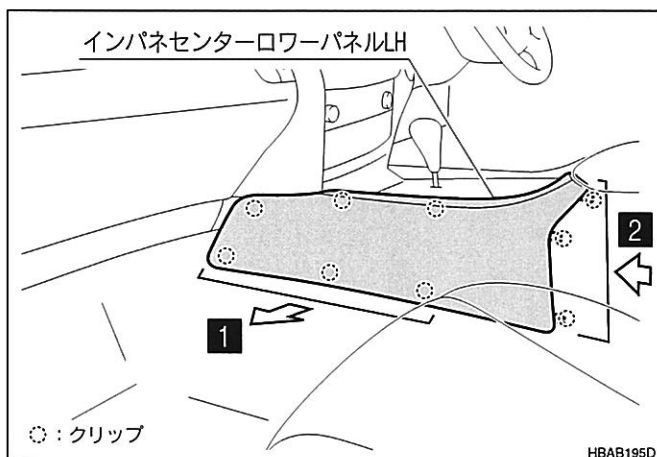
- P5-1** (1) クリップ (4箇所) 及びツメ (10箇所) の嵌合をはずし、フロントドアスカッフプレート LH を取りはずす。



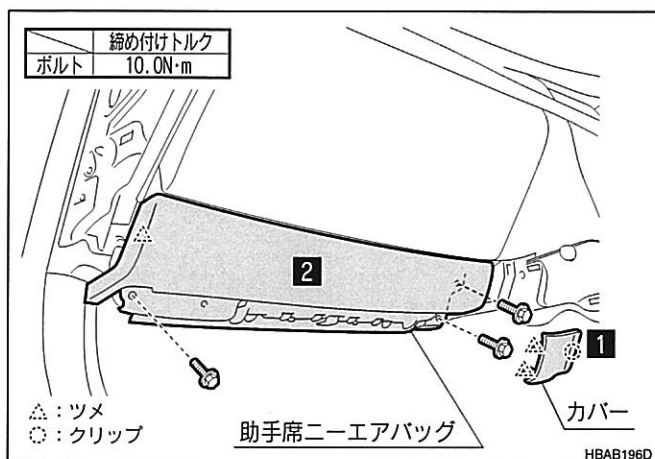
- P5-2** (1) クリップ (6箇所) の嵌合をはずし、インパネサイドロワーパネル LH を取りはずす。



- P5-3** (1) ツメ (4箇所) の嵌合をはずし、インパネアンダーカバー LH を取りはずす。



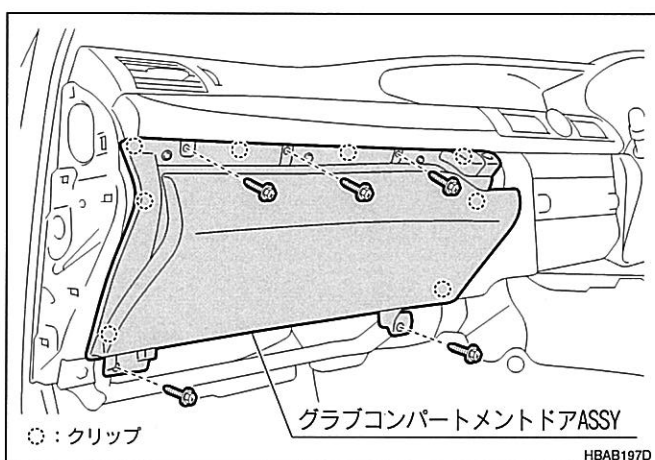
- P5-4** (1) 車両前方のクリップ (6箇所) の嵌合を **1** 矢印方向にはずす。
(2) 車両後方のクリップ (3箇所) の嵌合を **2** 矢印方向にはずし、インパネセンターロワーパネル LH を取りはずす。



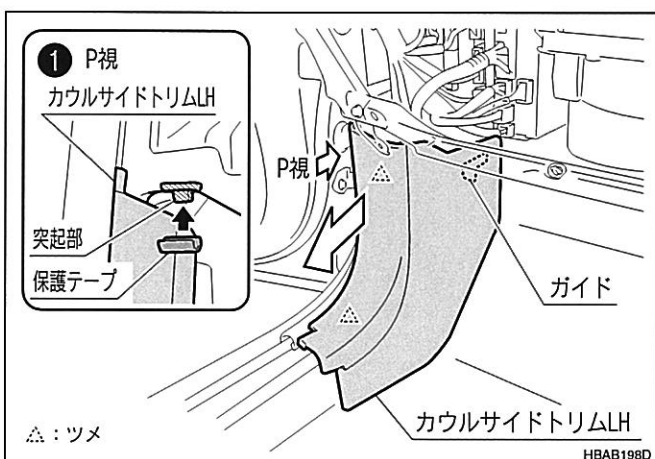
- P6-1** (1)クリップ (1箇所) 及びツメ (2箇所) の嵌合をはずし、カバーを取りはずす。
- (2)ボルト (3本) 及びツメ (1箇所) の嵌合をはずし、助手席ニーエアバッグを取りはずす。

⚠ 注意

- ① エアバッグのコネクターは抜かないでください。作業時にはずしてしまった場合は、一時的でも二重ロックタイプコネクターをロックし、パット面を上にして保管するようにしてください。
- ② 復元の際は、締め付けトルク表に従い、ボルトを締め付けてください。



- P6-2** (1)スクリュー (5本) をはずす。
- (2)クリップ (8箇所) の嵌合をはずし、グラブコンパートメントドアASSYを取りはずす。

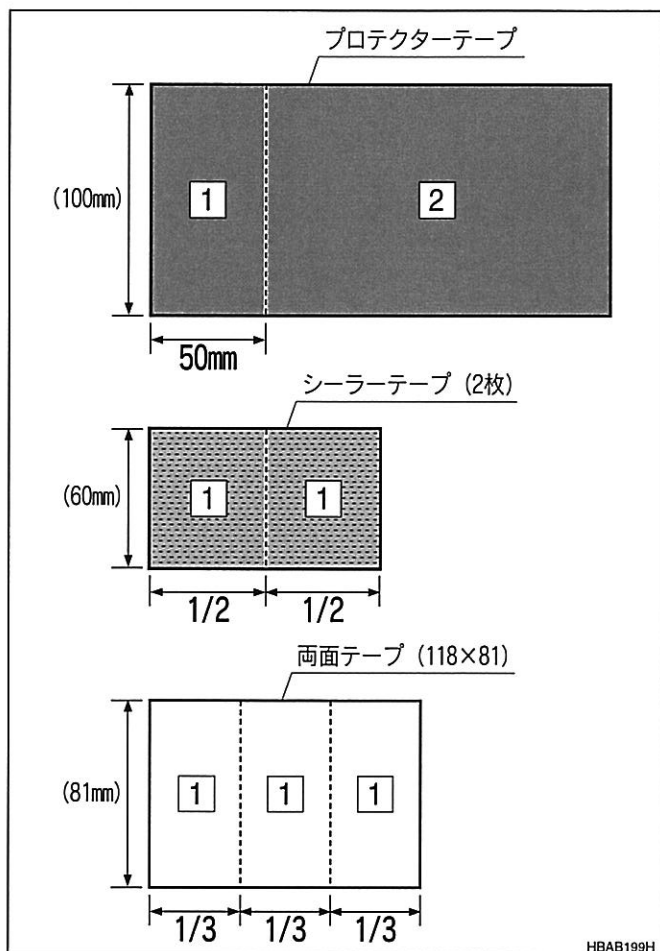


- P6-3** (1)①に従い、車両ブラケットの突起部に保護テープを貼り付ける。
- (2)ツメ (2箇所) の嵌合をはずし、カウルサイドトリムLHを矢印方向へ取りはずす。

⚠ 注意

カウルサイドトリムLHを取りはずす際、車両ブラケットの突起部に干渉しないよう充分注意してください。

配線前準備



P7-1 各種テープカット

(1) プロテクターテープをカットする。

1	P7-2	ハーネス保護用
2	P14-2	受信機防水用

(2) シーラーテープ (2 枚) をカットする。

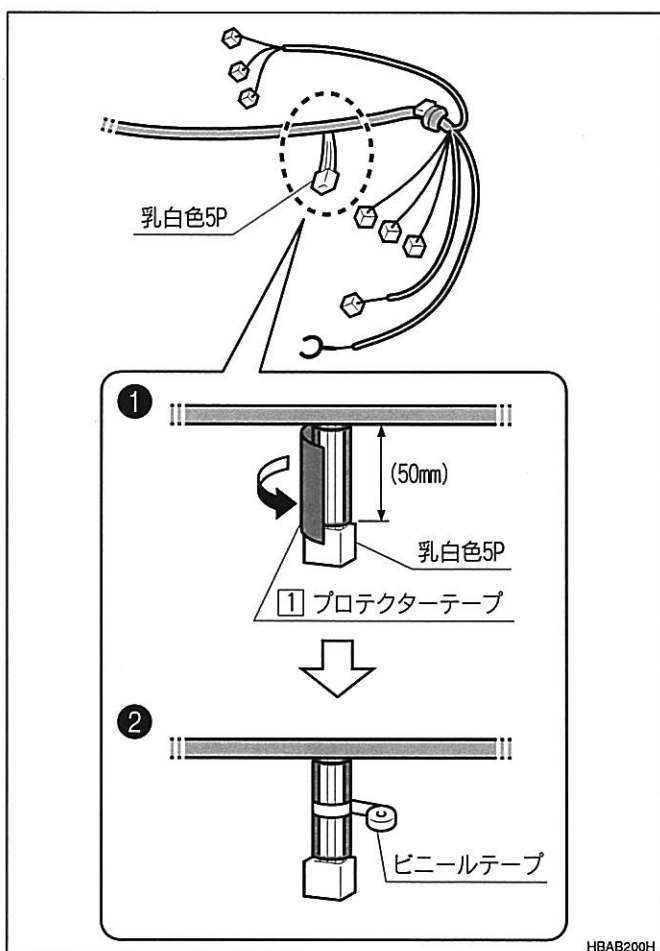
1	P12-2	アンテナロッド及びアンテナケーブル固定用
---	-------	----------------------

アドバイス

残りのシーラーテープ (1 枚) は、P12-3 で使用します。

(3) 両面テープ (118 × 81) をカットする。

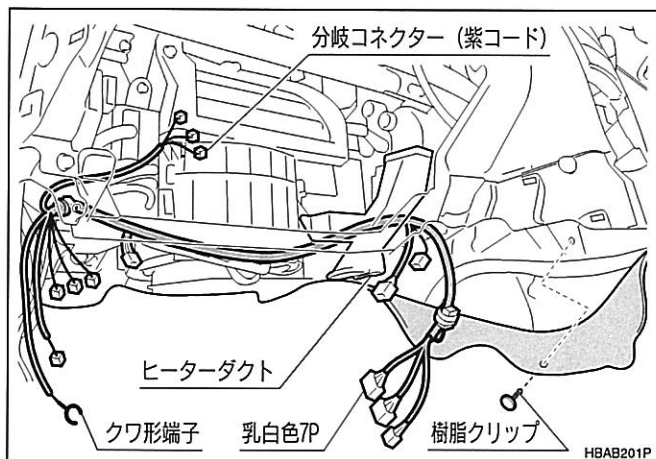
1	P16-1	タジウアダプター貼り付け用
---	-------	---------------



P7-2 ハーネスの保護

- ① に従い、乳白色 5P コネクタのはだか線を
① プロテクターテープで覆うように巻き付ける。
- ② に従い、① プロテクターテープをビニール
テープで固定する。

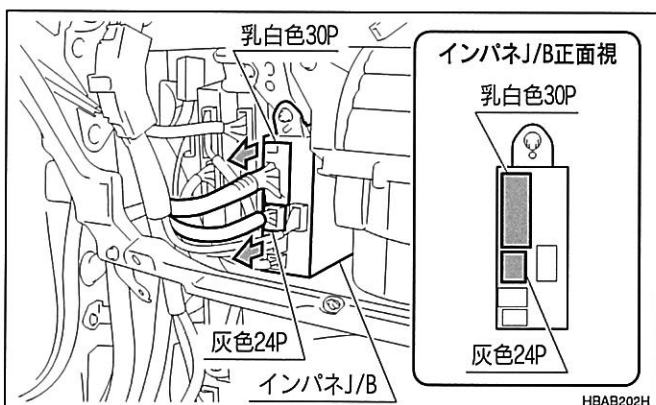
ハーネスの配線



助手席の配線

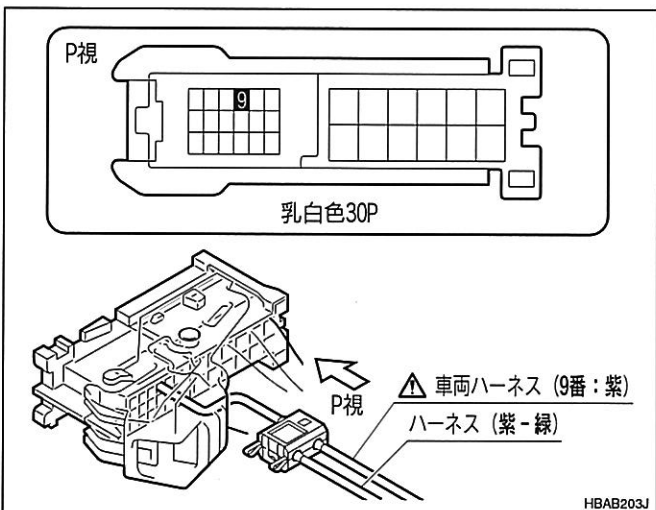
P8-1 ハーネスの仮配線

- (1) 樹脂クリップ (1 個) をはずし、フロアカーペットをめくる。
- (2) ハーネスの乳白色 7P コネクタ他をヒーターダクト裏に通し、助手席側センタートンネルまで配線する。
- (3) ハーネスのクワ形端子を、左カウルまで配線する。



P8-2 インパネ J/B の配線

- (1) インパネ J/B の乳白色 30P コネクタ及び灰色 24P コネクタを取りはずす。



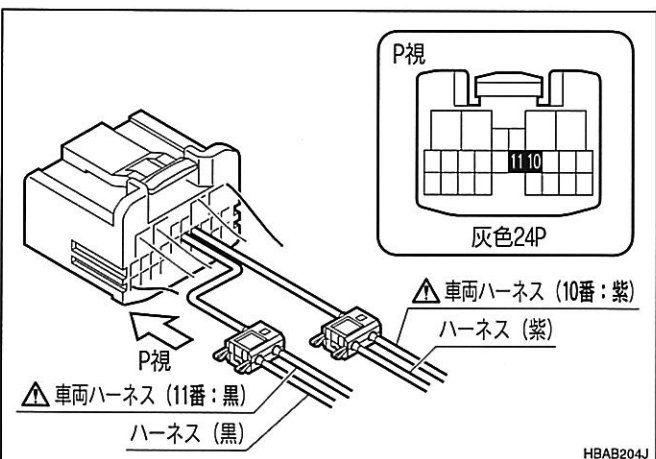
P8-3

- (1) 乳白色 30P コネクタの 9 番コード (紫) に、ハーネス (紫-緑コード) を接続する。

⚠ 注意

コネクタ内に同色コードがある為、端子番号及び緑色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。

- (2) 乳白色 30P コネクタを復元する。



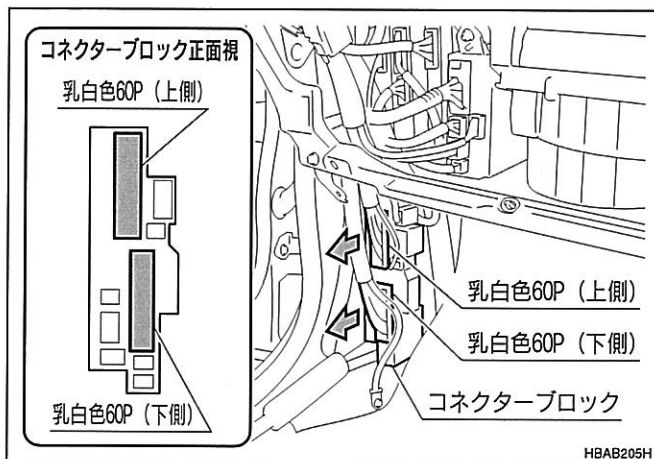
P8-4

- (1) 灰色 24P コネクタの 10 番コード (紫) に、ハーネス (紫コード) を接続する。
- (2) 灰色 24P コネクタの 11 番コード (黒) に、ハーネス (黒コード) を接続する。

⚠ 注意

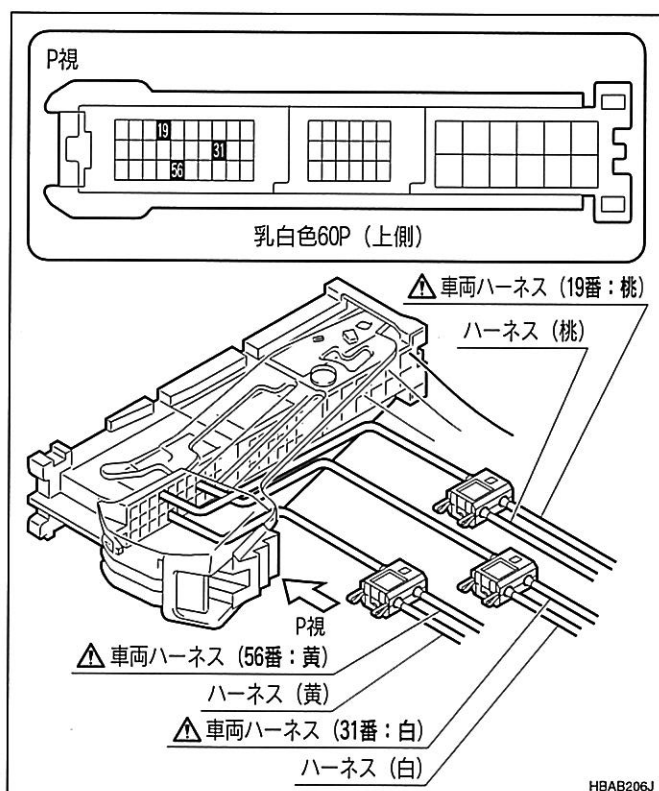
コネクタ内に同色コードがある為、端子番号及び緑色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。

- (3) 灰色 24P コネクタを復元する。



P9-1 コネクタブロックの配線

- (1) 左カウルコネクタブロックの乳白色 60P コネクタ (下側) を取りはずす。
- (2) 左カウルコネクタブロックの乳白色 60P コネクタ (上側) を取りはずす。



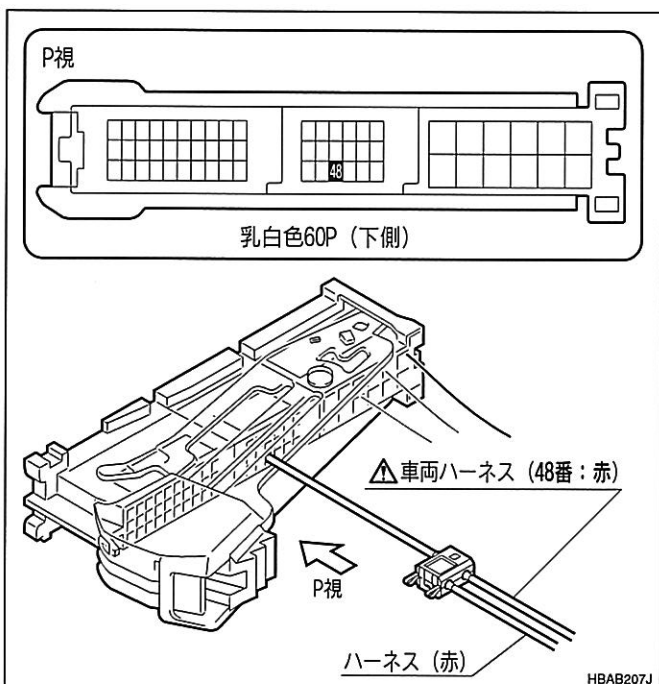
P9-2

- (1) 乳白色 60P コネクタ (上側) の 19 番コード (桃) に、ハーネス (桃コード) を接続する。
- (2) 乳白色 60P コネクタ (上側) の 31 番コード (白) に、ハーネス (白コード) を接続する。
- (3) 乳白色 60P コネクタ (上側) の 56 番コード (黄) に、ハーネス (黄コード) を接続する。

△ 注意

コネクタ内に同色コードがある為、端子番号及び線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。

- (4) 乳白色 60P コネクタ (上側) を復元する。



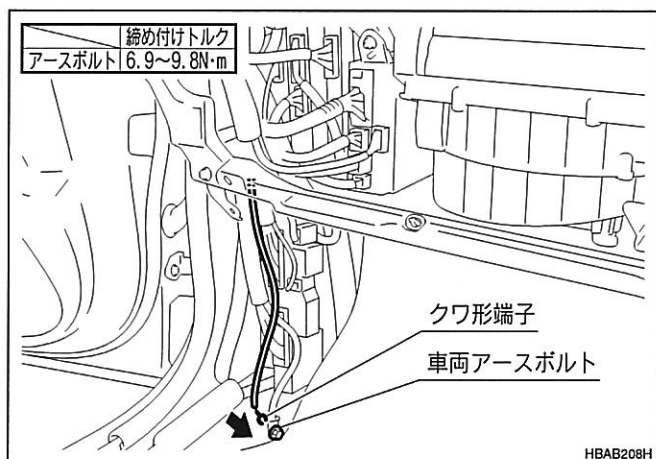
P9-3

- (1) 乳白色 60P コネクタ (下側) の 48 番コード (赤) に、ハーネス (赤コード) を接続する。

△ 注意

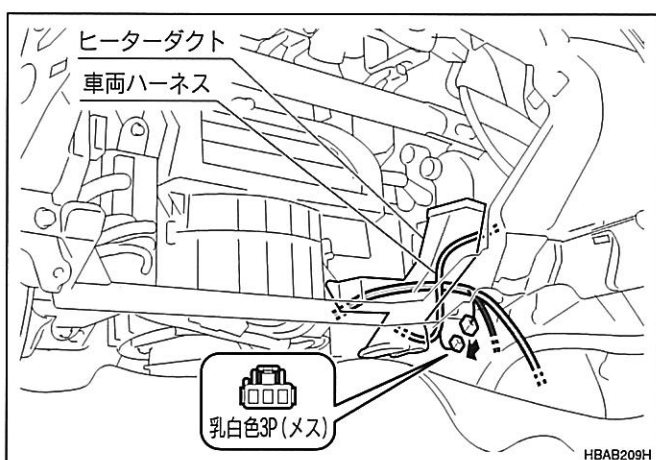
コネクタ内に同色コードがある為、端子番号及び線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。

- (2) 乳白色 60P コネクタ (下側) を復元する。



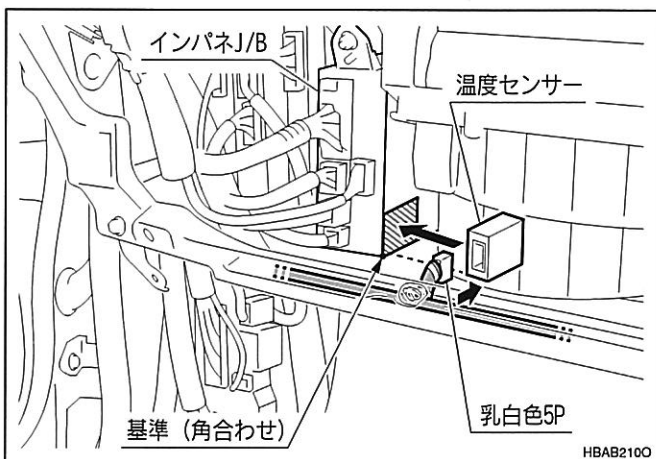
P10-1 アースコードの配線

- (1) 締め付けトルク表に従い、左カウルの車両アースボルトに、ハーネスのクワ形端子を接続する。



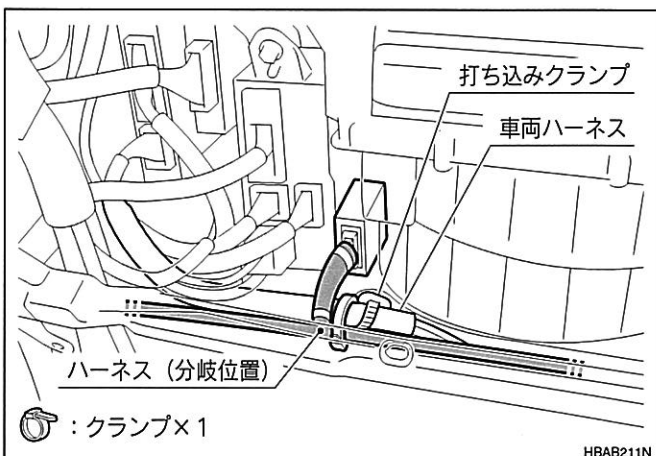
P10-2 オプションコネクターの配線

- (1) ヒーターダクト裏の車両ハーネスにビニールテープで固定されている、乳白色 3P オプションコネクタ（メス）を取り出す。
- (2) 乳白色 3P コネクタオプション（メス）に、ハーネスを接続する。



P10-3 温度センサーの取り付け

- (1) 温度センサーに、ハーネスの乳白色 5P コネクタを接続する。
- (2) 温度センサー貼付面（斜線部）を脱脂洗浄する。
- (3) 左記基準に従い、インパネJ/B（斜線部）に、温度センサーを貼り付ける。

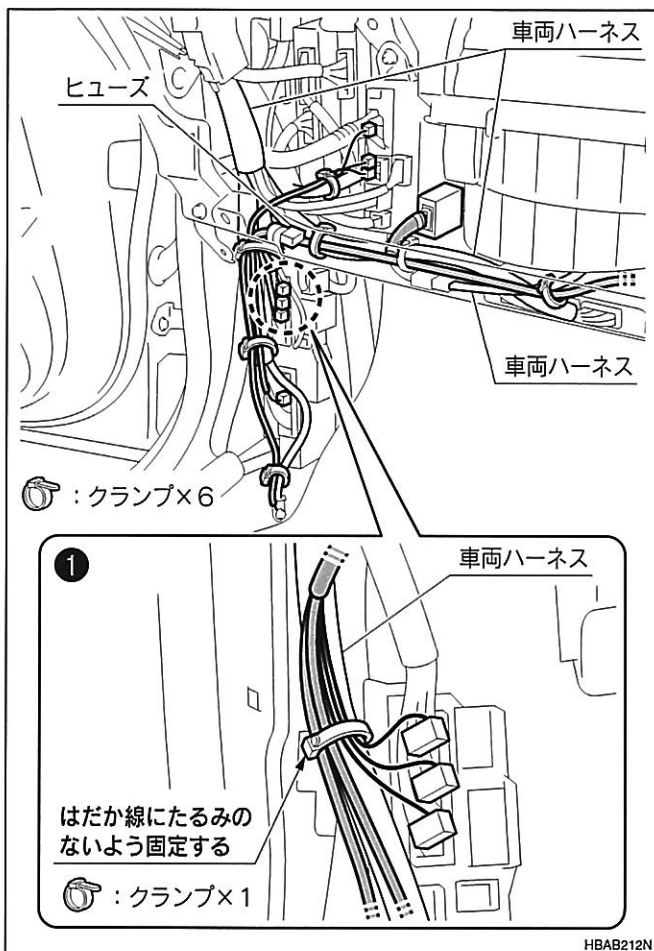


P10-4 ハーネスの固定

- (1) 車両ハーネス（打ち込みクランプ左側）に、ハーネスの分岐位置を固定する。

⚠ 注意

クランプの切断面（エッジ部）が、車両ハーネスと干渉しないように固定してください。

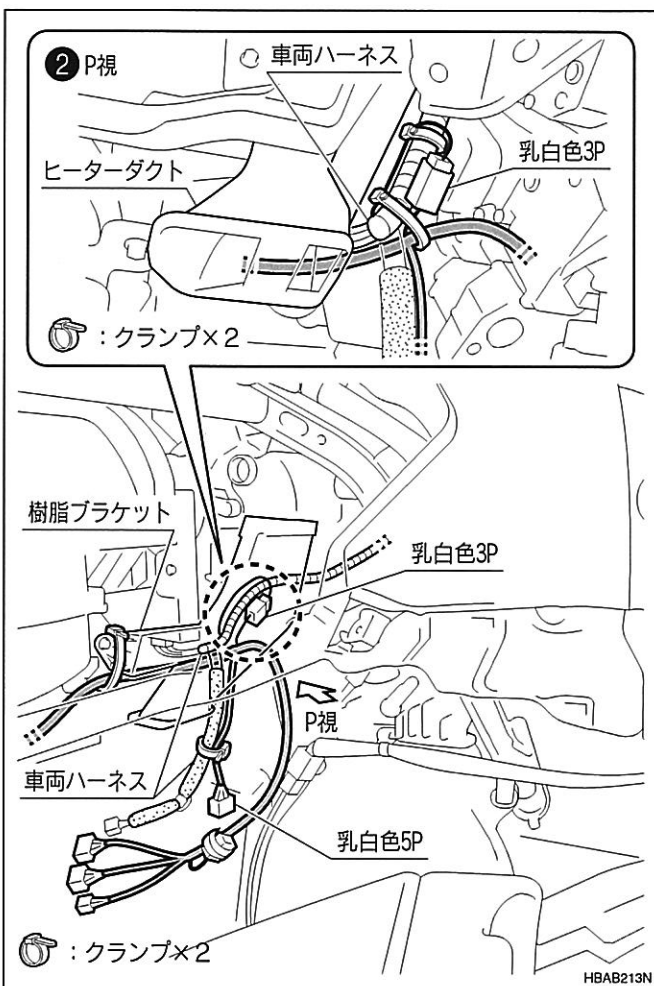


P11-1

- (1) 車両ハーネスに、ハーネスを固定する。
- (2) ① に従い、車両ハーネスにハーネスを固定する。

⚠ 注意

クランプの切断面（エッジ部）が、車両ハーネスと干渉しないよう固定してください。



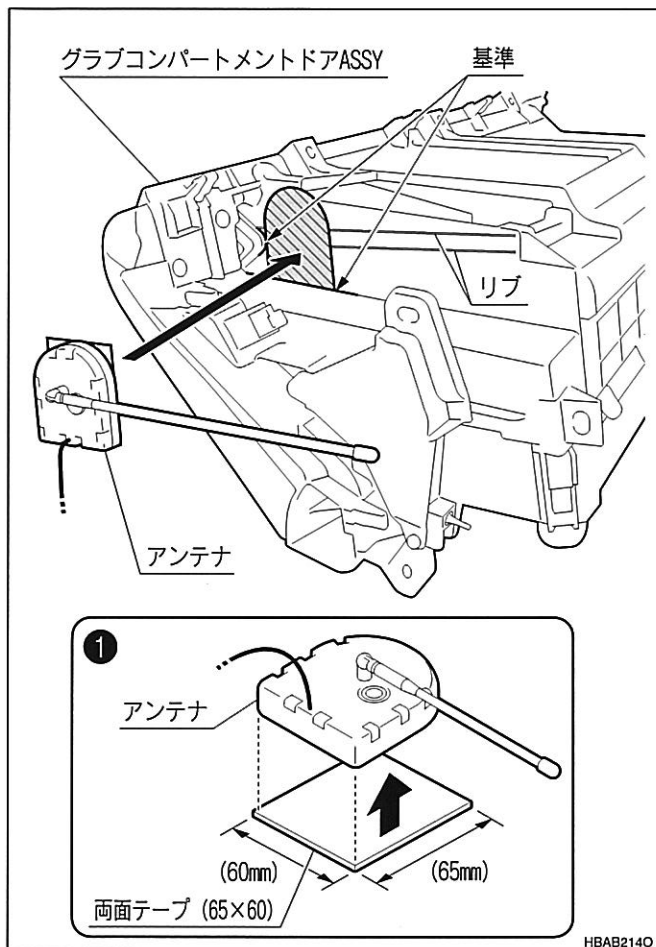
P11-2

- (1) 樹脂ブラケットに、ハーネスを固定する。
- (2) ② に従い、車両ハーネスに、ハーネス及び乳白色 3P コネクターを固定する。
- (3) 車両ハーネスに、ハーネスを固定する。

⚠ 注意

- ① 可動部を避け、ハーネスにたるみがないよう固定してください。
- ② クランプの切断面（エッジ部）が、車両ハーネスと干渉しないよう固定してください。

アンテナの取り付け及び配線

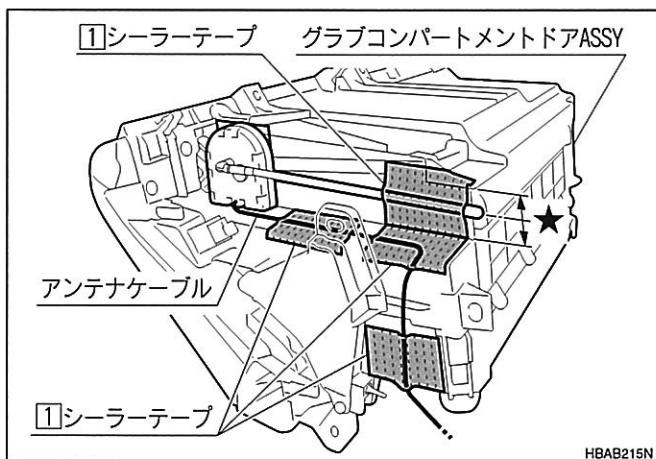


P12-1 アンテナの取り付け

- (1) ① に従い、アンテナを脱脂洗浄し、両面テープ (65 × 60) を貼り付ける。
- (2) アンテナ貼付面 (斜線部) を脱脂洗浄する。
- (3) 左記基準に従い、Grabコンパートメントドア ASSY 側面 (斜線部) に、アンテナを貼り付ける。

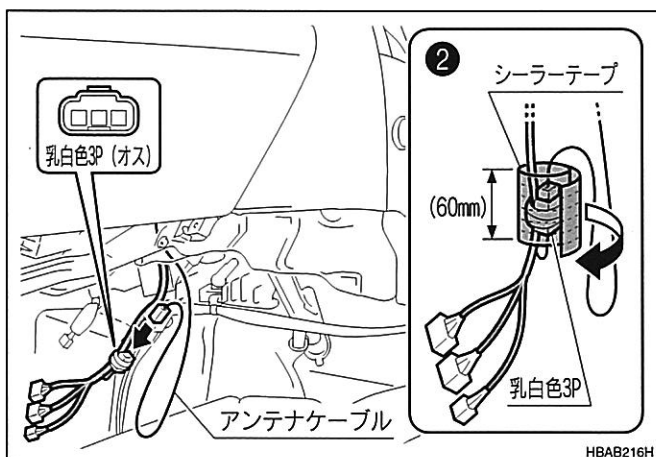
👉 アドバイス

アンテナ貼り付け後、アンテナを押さえ付け、リブの間に両面テープをなじませてください。



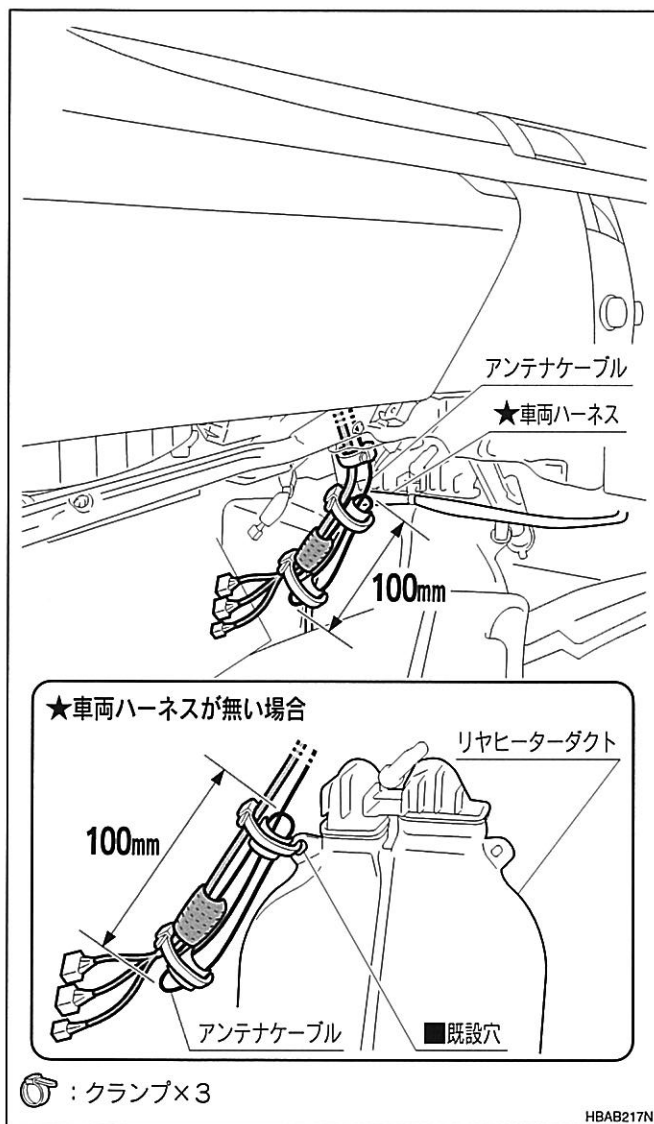
P12-2 アンテナの配線

- (1) アンテナロッドを★印間の中心に配置し、
① シーラーテープで固定する。
- (2) アンテナケーブルを ① シーラーテープで
Grabコンパートメントドア ASSY に固定する。
- (3) Grabコンパートメントドア ASSY を復元する。



P12-3

- (1) ハーネスの乳白色 3P コネクタ (オス) に、
アンテナケーブルを接続する。
- (2) ② に従い、乳白色 3P コネクタにシーラーテープ
を巻き付ける。



P13-1 ハーネス及びアンテナケーブルの固定

- (1) ハーネスに、アンテナケーブルを固定する。
- (2) 配線したハーネス及び束ねたアンテナケーブルを、クランプで★車両ハーネスまたは、■リアヒーターダクト既設穴（車両ハーネスが無い場合）及びハーネスに固定する。

⚠ 注意

クランプの切断面（エッジ部）が、車両ハーネスと干渉しないように固定してください。

ハーネスの点検及び受信機の取り付け

次の手順に従い確認を行ってください。また、確認中に作動不良箇所が見つかった場合は、記載されているページのコネクタまたは、分岐コネクタの接続を点検してください。

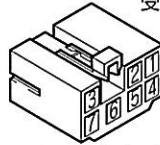
コネクタ端子の点検



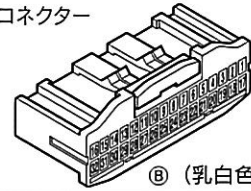
アドバイス

接続面から点検を行うと、端子が変形し、接触不良となりやすいので注意してください。

受信機に接続するコネクタ



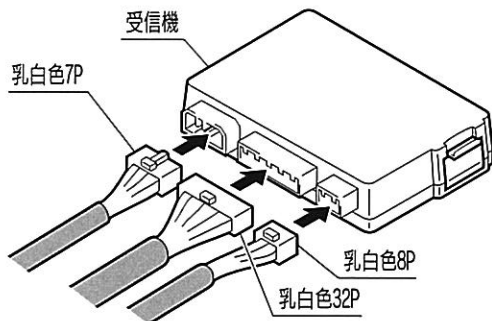
① (乳白色7P)



② (乳白色32P)

テスター端子		項目	点検条件	基準	基準以外	
+	-				点検するコネクタ、分岐コネクタ	点検後、基準以外の場合の異常箇所
④2番端子	アース	電圧	常時	10~14V	ハーネスのヒューズを点検切れていないとき→ P9-3	ハーネス
④3番端子	アース	電圧	エンジンスイッチで「ON」→「START」する	0V→「バッテリー電圧-2V以上」→0V(クランキング中)	P8-4	ハーネス
④4番端子	アース	電圧	エンジンスイッチで「OFF」→「ACC」にする	0V→バッテリー電圧-2.5V以上	P8-3	ハーネス
④6番端子	アース	電圧	エンジンスイッチで「ACC」→「ON」にする	0V→バッテリー電圧-2V以上	P9-2	ハーネス
④7番端子	アース	電圧	エンジンスイッチで「ACC」→「ON」にする	0V→バッテリー電圧-2V以上	P8-4	ハーネス
④10番端子	アース	→	エンジンスイッチ「ON」の状態でシフトレバーを「P」→「P以外」にする	導通なし→導通あり	P9-2	ハーネス
④21,22,23番端子	アース	→	常時	導通あり	P10-1	ハーネス

端子点検終了後、受信機を取り付け、作動確認を行ってください。



HBAB218H

P14-1 受信機を取り付け

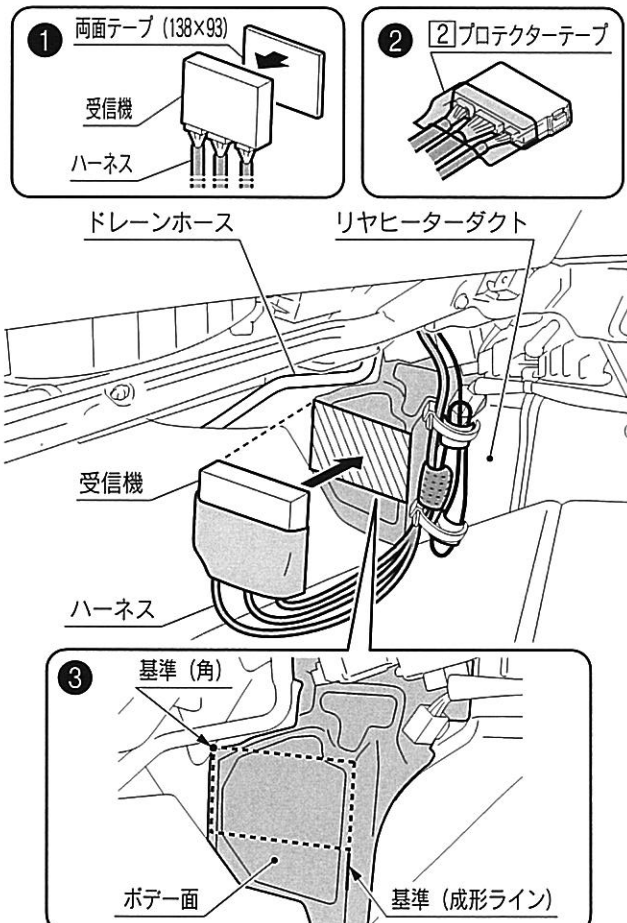
- (1) 受信機にハーネスの乳白色 7P コネクタ、乳白色 32P コネクタ及び乳白色 8P コネクタを接続する。

P14-2 受信機の貼り付け

- (1) ① に従い、受信機を脱脂洗浄し、両面テープ (138 × 93) を貼り付ける。
- (2) ② に従い、コネクタを覆うよう、受信機に ② プロテクターテープを貼り付ける。
- (3) ③ に従い、センタートンネル助手席側ボデー面 (斜線部) に、受信機を貼り付ける。

⚠ 注意

ドレンホースと干渉しないよう、受信機を貼り付けてください。



HBAB2190

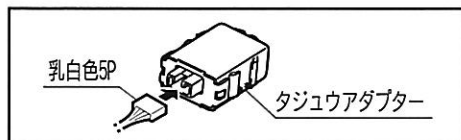
作動確認

1. 取り付けの確認

作動確認の前に、配線や取り付けに異常がない事を確認してください。

2. サブキー登録

(1) タジュアダプターに、ハーネスの乳白色 5P コネクターを仮接続してください。

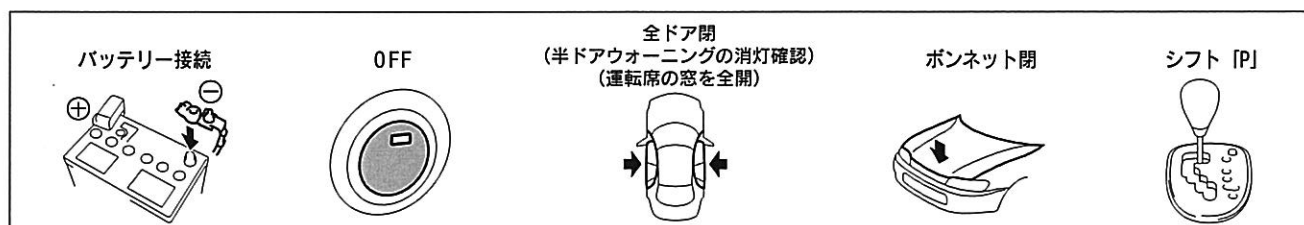


(2) 作動確認の前に、必ず「サブキー登録」が必要です。

- ・ バッテリーの（－）側ケーブルを取り付けてください。
- ・ 別途ご案内の『サブキー登録』に基づき、サブキー登録を行ってください。

3. 作動確認

以下の手順に従い、作動確認を行ってください。また、作動不良が発生した場合は指示に従い、点検または部品の交換を行ってください。

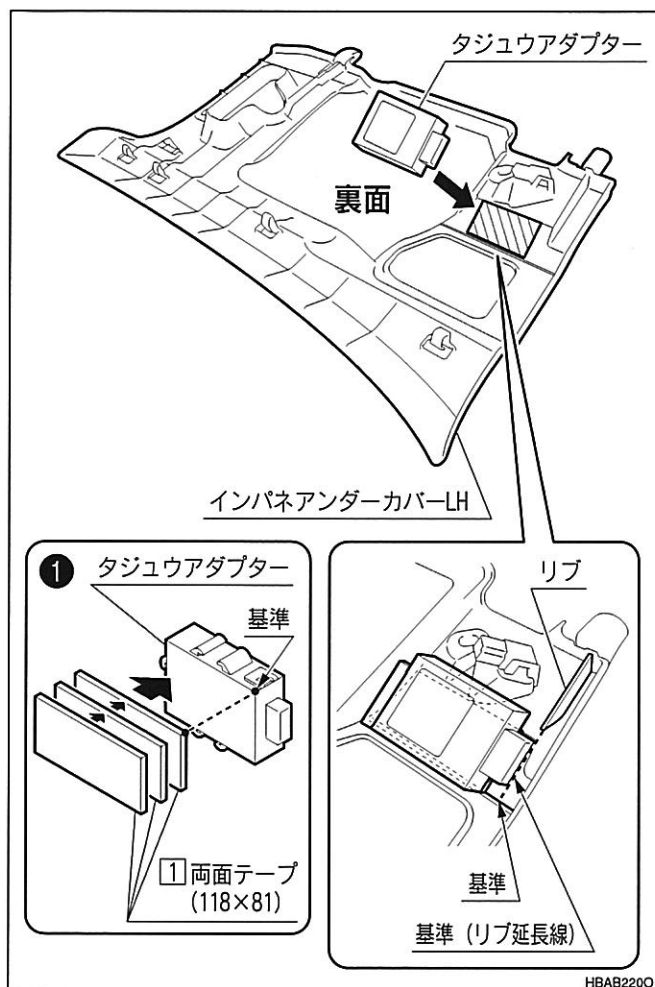


以下の項目を順に確認してください。異常があった場合は「異常時の点検箇所」を確認してください。

No.	作動確認項目	携帯機アンサーバック表示	異常時の点検箇所
1	携帯機でロック作動及びアンロック作動しますか？	<ロック> <アンロック>	C & A 開発部発行 『レクサス純正 リモートスタート』 トラブルシューティング LS 8-4 に従い点検を実施してください。
2	携帯機でエンジンスタートしますか？		
3	携帯機でエンジンストップしますか？		
4	リモートスタートでエンジン始動後、ボンネットを開ける(*)と、エンジンが停止しますか？	—	
5	リモートスタートでエンジン始動後、シフトレバーをPレンジから左へ操作すると、エンジンが停止しますか？	—	
6	携帯機の ⓘ ボタンを押すと、温度表示 されますか？		
7	アラームをセットし10秒以上警報させた後、警報を停止してください。 携帯機の ⓘ ボタンを押すと、 が表示されますか？		

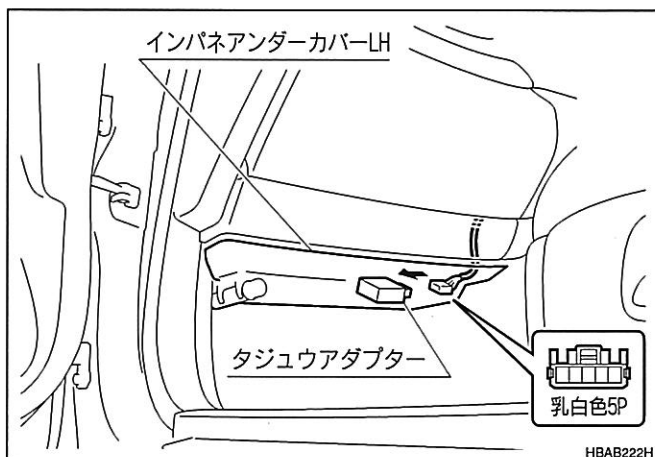
(*) : 30秒以上経過後にボンネットを開けると警報します。

タジュウアダプターの取り付け



P16-1 タジュウアダプターの取り付け及び接続

- (1) ① に従い、タジュウアダプターを脱脂洗浄し、
① 両面テープ (118 × 81) 3 枚を貼り付ける。
- (2) インパネアンダーカバー LH 裏面のタジュウアダプター貼付面 (斜線部) を脱脂洗浄する。
- (3) インパネアンダーカバー LH 裏面のリブ及び成形ラインを基準として、コネクター端面をリブに合わせるよう、タジュウアダプターを貼り付ける。



P16-2

- (1) タジュウアダプターに、ハーネスの乳白色 5P コネクターを接続する。

⚠ 注意

インパネアンダーカバー LH 復元時に、ハーネスを噛み込まないよう注意してください。

復元作業

「作動確認」完了後、取りはずした車両部品を下記の点に注意し、元通りに取り付けてください。

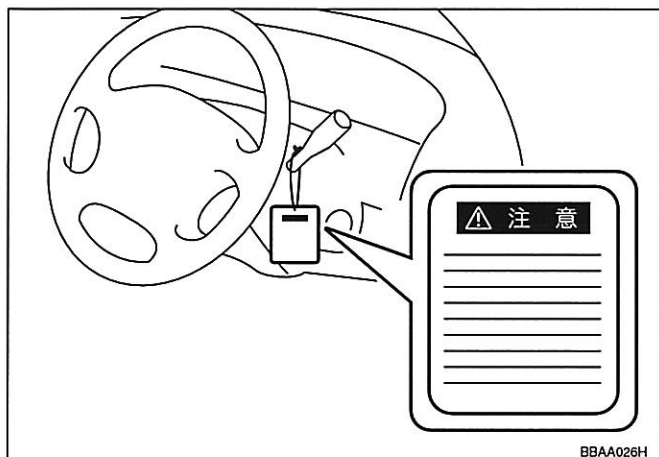
⚠ 注意

復元作業は、車両ハーネス及び用品ハーネスの噛み込みや、車両部品の損傷に充分注意してください。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

コーションプレートの取り付け



P17-1 コーションプレートの取り付け

(1) コーションプレートをターンレバーに取り付ける。



アドバイス

コーションプレートは必ず取り付けてください。

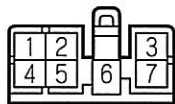
最終確認

1. ハーネス類の噛み込み及び車両部品の取り付けミスがないか、もう一度確認してください。
2. ドアロック・パワーウインド・ハザード等、電気系統に異常がないか確認してください。

配線図

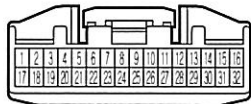
コネクター番号

①



P14-1

②



P14-1

③



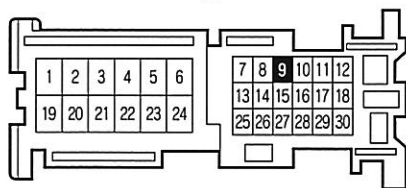
P14-1

④



P16-2

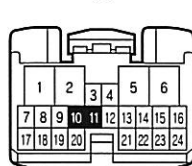
⑤



(分岐コネクターによる配線)

P8-3

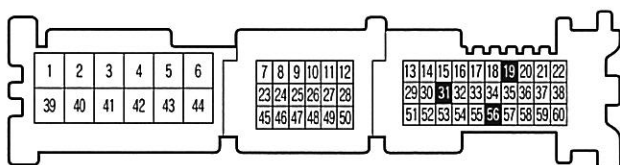
⑥



(分岐コネクターによる配線)

P8-4

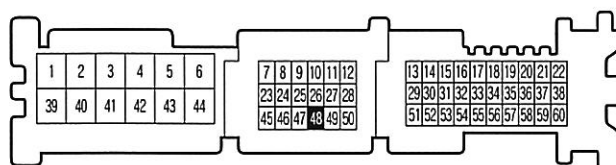
⑦



(分岐コネクターによる配線)

P9-2

⑧



(分岐コネクターによる配線)

P9-3

⑨



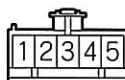
P10-1

⑩



P10-2

⑪



P10-3

⑫



P12-3

